



「しなやかで、へこたれない心を育てる
子ども会として」

会長 須田 貴子

日頃より、子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。さて、世界的に広がった新型コロナウイルスの拡大により、新しく役員になられた方が活動を実行することを躊躇したり、人との関りが制限される中で活動意欲を失いかけている方がいらっしゃるお聞きします。このような状況下においても、試行錯誤しながら子どもへの支援活動や体験活動の場を作っていただいた役員の皆様を始め、快く活動に送り出してくださいました保護者の皆様に、県子連代表として心より感謝申し上げます。

県内では、昨年一昨年と感染症拡大への懸念から加入を見送った単位子ども会も少なくありません。感染禍で様々な課題や困難を抱える保護者も増えているとお聞きます。県子連と致しまして、昨年度末に地域における活動の参考になることを願い、「活動に取り組む上でのつながり方ヒント集」を県内の単位子ども会代表者に配布させていただきました。また、

昨年の関東ブロック新潟大会では「新しい日常における活動事例」を募集し、そ



のアンケート結果を関東ブロック新潟大会報告書として各県や県内の代表者に配付させていただきました。

「色々な制約がある中、子どもたちに楽しい思い出を作ってあげたいという思いで屋外活動や内容を考えた。」

「子ども同士、親子、地域の大切さを感じ、つながりの有難さを改めて確認できた。」

「活動を中止したが、子どもたちに笑顔になつてもらいたいと思い、活動予定だった日にプレゼントを配付した。」など、多くの体験を通じた感想をいただくことができました。

三年にも及ぶ新型コロナウイルスの影響もありますが、今回の経験で誰かとながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さ、これまで積み重ねてきた活動への思いを再確認する機会にもなりました。

現在はまだ、大人数で集まることも難しいですが、子どもが他者とながりに、成長していけるような地域づくりを進めていくためにも、個人でできること、家庭単位でできること、少人数でできることなど、出来ること探しをしながら地域での活動を計画しております。みんなで知恵を出しあえば、むしろ、新しい方法が生まれるチャンスかもしれないと、変化を受け入れ、樂觀的に考えた「新しい日常生活」活動で、地域の方と共に知恵と力を出し合つて、自分ができる範囲の色々な関

わり方で参加できる、地域ぐるみで取り組めるような「新しいつながりの輪」を育んでいくことも大切だと感じております。

私たち子ども会育成者は、子どもに関わる地域の一番身近な大人として、保護者や子どもに寄り添い、活動できることを模索しながら、役員の皆様とともに活動を展開したいと考えております。予測が困難で変化の激しい近年ではありますが、しなやかで、へこたれない心の強さを育む育成団体として活動してまいります。

本年もどうぞ、宜しくお願い致します。

今後の予定

- 県子連だより第二三八号発行 六月十日(金)
- 第一回関ブロックJL実行委員会(国立妙高青少年自然の家) 六月十九日(日)
- 第一回関ブロック推進研究会(全子連ビル) 六月二十五日(土)～二十六日(日)
- 第一回JL中級研修会(国立妙高青少年自然の家) 七月一日(土)～三日(日)
- 関ブロック安全啓発中級指導者講習会(長岡市) 七月九日(土)～十日(日)
- 第二回関ブロックJL実行委員会(柏崎市) 七月十七日(日)



地域と学校の連携・協働体制づくりの促進

新潟県教育庁中越教育事務所

社会教育課長 太島 誠

中越教育事務所社会教育課では、令和四年度に次の三つの方針を定めて取組を進めています。

○地域と学校の連携・協働体制づくり

○市町村間、関係部局・団体との連携・ネットワークづくり

○家庭を支える場・機会の充実と支え合う人づくり

一つ目の「地域と学校の協働体制づくり」について簡単に紹介します。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、「社会総掛かりでの教育」の実現が不可欠です。持続可能な体制を作り、地域と学校で目標を共有し、相互補完的に連携・協働していくことが大切です。

現在、「コミュニティ・スクール（以下「CS」）や地域学校協働活動に関する法整備が進み、学校を核とした地域づくりを進める動きが加速しています。CSは、すでに中越管内十市町村では完全導入済みであり、今年度は三市でモデル校やパイロット校を決め、導入に向けた事業を進めています。社会教育課としても、CSを導入の進みのところは更に実践が充実する

ように、取り組み始めのところはうまく軌道に乗れるように実情を把握し、必要な情報を提供するなどの支援をさせていただきます。また、未導入の町村については、地域との連携・協働についての状況を聞き取りながら、「地域の特色を生かし、地域とともにあゆむ学校づくり」の観点から協議や支援を行います。

さて、当事務所では、管内市町村の生涯学習・社会教育主管課より情報を提供していただき、「中越の生涯学習」（左の写真）を作成しています。その中には、「家庭の教育力向上」や「子どもを育てる環境づくり」に関わる優れた取組内容や有益な情報がたくさん盛り込まれています。中越教育事務所のホームページにはPDFデータを掲載してあります。誰でも御覧いただけますので、是非御活用ください。

令和3年度

中越の生涯学習

新潟県教育庁中越教育事務所

中越教育事務所「社会教育課事業」バックナンバー

検索



謝辞と一言

新発田市子ども会連合会 上野 純一

この度、身に余る表彰を頂き誠にありがとうございました。この度の栄誉を頂くにあたり新発田市子ども会の桐生会長はじめスタッフの皆様へ感謝申し上げます。

私の子ども会との関わりは、町内会の子ども会からです。旧商店街のこじんまりとした会でしたがお祭りの金魚台輪を大きな声で引き回す元気な子どもたちでした。その後、市子連の活動に参加するようになりました。

工夫を凝らした活動をする会で加賀市との交歓会、JAXA訪問、子ども祭りや活発に活動をしてきました。そのお手伝いをしてきました。それは、楽しい思い出です。郊外の団地に引っ越してからは、新しい町内の子ども会には参加していませんでしたが、市子連の活動を続けてきました。そこは、新興住宅地で近くに小学校もあり子供たちも沢山いましたが、子ども会の活動はそれほど活発では無いように感じられます。

そしてここ数年子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきているように感じます。まずは、コ

ロナ禍による活動自粛。あるいは、洪水・地震など災害に対する防災への取り組み。また、授業でも取り上げられているSDGsやダイバーシティなど。これらも野外活動やKYTと同じように取り入れていく必要があるようにおもいます。今後とも変化してゆく子ども会の活動にかかわっていただけたらと考えています。



上越地区

楽しい田井子ども会

田井清涼子ども会

六年 森田 華

私の地区の子ども会は、地いきの仲間づくりや思い出づくりとして、夏に親子で流しそうめん、冬にクリスマス会を行いました。

流しそうめんは、お父さんたちが竹をわって流れるように作ってくれました。みんな左右にならんで、流れてくるそうめんを早い者勝ちですくいます。はしの上手な高学年がすくってしまうので、



私たちは小さい子にゆずってあげたりしました。他にも、トマトやチョコも流れてきました。特にトマトは、つるつるして、はしでつかむのがむずかしかったです。流す係もみんな順番でやりました。そうめんは冷たくて、家で食べるより数倍おいしかったです。

その後は、公民館で自主学習をし、夜は親子でピザ作りやバーベキューをしたり、中学生とうでずもつや花火をしてもり上がりしました。夜、天気が良くなって、きも

だめしができなかったことが私は残ねんでした。

冬のクリスマス会は、ホットケーキで自分のクリスマスケーキを作りました。二つのチームに分かれ、手分けしてたまごをわつたり、牛にゆうを量つてまぜたり。最初は少しこげただけ、そのうち慣れて上手くやけるようになりました。みんな好きな形にやいて、クリームと果物でデコレーションして、かわいいケーキに仕上がりました。

食べ終わった後は、ネイチャーフラフトです。近くでとつたどんぐりや木の枝、松ぼっくりをブルーガンでくつつけて、好きな形にしました。友達は、みんな個性的な物を作っていました。私も楽しくて、いろいろな物を作るのができました。最後にみんなの作品をならべて写真をとりま



コロナの中でも、小学生や中学生といっしょに楽しい思い出ができて良かったです。私は田井の子ども会活動が大好きです。

中越地区

「星空観察会」に参加して

南魚沼市上原子ども会

五年 種村 百華

わたしはお母さんの友達の親子といっしょに星空観察会に参加しました。参加しようと思ったのは、四年生の理科の勉強で星についてならつていきようみがあり、もっと星のことを知りたいと思つたからです。

当日の夜の六時はくもりで残念ながら星空が見えなくて体育館でやることになりました。体育館に入ると大きなモニターと天体望遠鏡がありました。わたしはワクワクしました。

まず最初に月と星座の見方、月の形の変化と星座の動き、夏の星座と夏の大三角を教してもらいました。津南町から町おこし協力隊の照井さんが来てくれて、いろいろくわしく説明してくれました。



照井さんがとつた写真もたくさん見せてもらいました。とてもきれいでした。夏の星座ではわたしは、はくちょう座(アルビレオ)

がとても気に入りました。他にはわし座、こと座などがあります。北極星は道しるべになるそうです。たくさん教えてもらいました。



次に流星群の見つけ方、カシオペア座とペルセウス座について教えてもらいました。えいぞうを見たりしながらくわしく教えてもらいました。流星群を見るポイントとしてなるべく空の広い所で見、星座を目印に探すと良いそうです。最後に天体望遠鏡で月、木星、土星を見ました。その中でもわたしは月が一番きれいでした。

星空観察に便利なアプリも教えてもらったのでその時にすぐとつて、帰りの車の中で何回も見ました。

今回は残念ながら外で星空を見ることが出来なかつたので、晴れた日にちゃんと望遠鏡で星や月を見たかったです。

少人数での参加だったけど、スタッフさん達もやさしく分かりやすく教えてくれたので楽しい時間が過ごせました。またイベントがあったら、参加したいと思いました。

佐渡地区

コロナ禍での地区行事

赤泊 三川子ども会
五年 岩ヶ坂 悠莉

わたしの住んでいる赤泊では、毎年八月に港祭りが行われていきます。でもコロナが流行してからは中止になってしまい、楽しみにしていた花火大会も中止になっていました。

そこでお母さん達が子ども会の地区行事で花火大会をしてくれる事になりました。

八月三日、夜七時に海水浴場の駐車場にみんながマスクを付けて集合しました。花火は、手持ち花火のセットを一人に一袋用意してくれてありました。それとペットボトルの飲み物も一人一本ずつあり、好きな物をえらんでもらいました。

みんなで密にならないように距離を取って、所々に火を点けた口ウソクと使用済み花火を入れるための水を入れたバケツを置いて、花火大会を始めました。みんながもらった花火セットを開けて好きな花火に火をつけ、友達と火を点け合って楽しんでいました。わたしも弟の花火に火を点けてあげたり、花火を友達の方に向けてあげないように注意して花火をやりました。外が暗くなってくると花火の火が

とてもきれいに見えました。みんなでもらった花火をやり終わると、次はお母さん達が打ち上げ花火を出して点火してくれました。

花火を海岸にいくつか並べて次から次へと点火しました。花火の色がそれぞれちがってとてもきれいでした。小さな花火大会になりましたが、とても楽しかったです。わたし達の花火が終わる頃に海の沖に小さく花火が上がっているのが見えました。赤泊から長岡花火大会の花火をぐうぜん見る事ができました。沖に見える小さな花火でしたが、とてもきれいに見えました。花火の音も打ち上がる度に「ドンッ！」と小さく聞こえました。

みんなで花火のゴミを片付け、使った場所をきれいにしてから帰りました。コロナ禍ですが楽しい思い出になった地区行事でした。



下越地区

まき夏まつりの思い出

巻十区子ども会
六年 渡辺 英紀

ぼくの地域では、毎年六月の「まき夏まつり」に山車と一緒に参加していました。祭りでは、町内だけではなく、町中を回りまわす。そして本町パレードにも参加していました。一昨年はコロナウィルスのえいきょうで祭りが中止となり参加することができませんでした。

昨年、祭りは中止でしたが、ぼくの地域だけは、お父さん、お母さんたちが、祭りはないけど、ハッピを着て町内盛り上げようと書いてくれたので、参加することができました。

ぼくの町内は、小学生は十二名です。みんなで町内を回りました。残念ながら山車はありませんが、僕たちとお父さん、お母さんたちで「やかたおけさ」「まきじんく」を踊りました。十力所で踊りました。いつもは、祭り前に踊りの練習をしますが、一回も練習しませんでした。上手に踊れるか心配でしたが、ところどころに、町内の人が、ぼくたちを待っていてくれたことに大変驚きました。そして、一緒に踊ってくれたので、大変楽しかったです。

終了後には、たくさんの飲み物とお菓子をもらって、ぼくも嬉しかったですが、みんなも大変喜んでいました。

昨年、子ども会の活動が出来たのは、まつりの参加だけでした。お楽しみ会なども全て中止となり、本当に残念でした。

今年は、祭りは開催しますが、本町パレードは中止です。今年も町内を回るので楽しみたいと思います。また、お楽しみ会なども出来てたくさんのお思い出が作れたらいいなと思います。



編集後記

県子連総会は、感染防止策を施しながら実施することができました。関フロJL新潟大会は、令和五年度の実施で、今年度は準備期間となります。コロナ禍で、JLの皆さんの集合・打合せに苦慮しています。原稿を執筆していただきました皆様、御礼申し上げます。
(文責：板垣)

【編集発行】

一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一-八一三
新潟市中央区白山浦一三〇〇
電話 〇二五-二三〇-五二九八
FAX 〇二五-二三〇-五二九二